

# 研修牧場のイメージ

## 研修牧場 株式会社 八雲青年舎 (仮称)

\* 北里大学獣医学部附属FSC八雲牧場との連携

【連携】

\* 作業員として、  
高齢者・障害者を雇用

【福祉】

\* 小中学生を対象とした食育体験  
【体験】

【実習】

\* 農業系高校・大学の学生実習受け入れ  
\* 社会人向け短期就業体験プログラム

【ヘルパー】

\* ヘルパー組合と提携  
\* サブヘルパーとして研修生を運用  
\* ヘルパー養成プログラムを実施

\* 町育成牧場の活用による通年預託の実現

【育成預託】

株式会社 八雲青年舎  
ダイカン  
大関牧場

【生産】

\* 参加酪農家は上八雲地区の5戸  
\* 草地面積 約300ha  
\* 搾乳牛頭数 440頭  
\* 搾乳ロボット8台+パーラー

- 運営は町や参加酪農家、関連団体等が出資する法人
- 法人の代表者は八雲町長、JA新はこだて北渡島地区運営委員長、参加酪農家代表の3名
- 施設の建設には国費補助を活用し、補助残は町が負担
- 機械や牛などの導入に必要な経費は法人が借入
- 参加酪農家5戸（10名）が労働の主体を担う
- 平成33年4月からの営農開始を想定

■ この牧場の収益は、研修部門の運営のほか、ヘルパーの育成や八雲町の様々な農業振興のために活用されます

【研修】

- \* 研修生用集合住宅を併設
- \* 家族1~2世帯、単身者2~3人
- \* 2年間の研修後、町内の酪農家から第三者継承により就農
- \* 研修プログラムの一環として、ヘルパーも経験
- \* 法人従業員としての雇用の道も
- \* 研修プログラムに参加する協力牧場を募集